地域密着型サービス　運営推進会議　報告書

事業所名：小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ

ｻｰﾋﾞｽ種類：□グループホーム　・　■小規模多機能型居宅介護

□地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

□地域密着型通所介護　・　□認知症対応型通所介護　（該当に■）

日　　時：　令和 8 年 10 月 15 日　　10 時 00 分～11 時 00 分

場　　所：　小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ

委　　員：　9 人

利用者代表	0 人	知見を有する者	1 人
利用者家族	0 人	大田市職員	1 人
地域住民の代表	1 人		
事業所職員 （職名：しおさい施設長・管理者・リーダー）			3 人

１．報告事項：

（１）利用者の状況

①入所者、登録者、利用者の人数

（小規模多機能居宅介護は、通い・訪問・泊りの利用者状況を加える）

a）登録者数及び男女比

	8 月	9 月
登録数（月末時点）	23 名	24 名
男性：女性	9:14	9:15

b)地域

	8 月	9 月
仁摩町	16 名	14 名
温泉津	6 名	6 名
大森町	1 名	1 名
五十猛町	0 名	0 名
水上町	1 名	1 名
大田町	1 名	1 名

c）要介護度

	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	変更申請
8 月	0	3	10	7	3	1	1	0
9 月	0	2	10	5	2	1	2	2

d）年齢構成

	６４歳未満	６５歳以上 ７５歳未満	７５歳以上 ８５歳未満	８５歳以上 ９５歳未満	９５歳以上	平均年齢
8 月	0	0	8	12	5	88.3 歳
9 月	0	0	8	12	4	87.8 歳

（２）サービスの提供状況

①サービスの提供回数

a）週当たりの平均サービス提供回数

		８月	９月
サービス提供量 介護＋予防 短期利用除く	①総提供回数	８８２回	８４１回
	通い回数	３６５回	３４４回
	訪問回数	３８４回	３７３回
	宿泊回数	１３３回	１２４回
	②登録者数	２５名	２４名
	③週数	４．４２	４．２８
	１人当たりの平均回数	７．９回	８．１回

b）長期宿泊および過少サービスの状況

長期宿泊の方 2 名。週平均４回以下の過少サービス状態の方が 8 月 4 名・9 月 3 名おられました。長期宿泊、過少サービス状態の方については各利用者の心身状況・生活状況、本人・家族の希望を報告し、委員より不適切指摘はありませんでした。

（３）しつらえ・環境作り

①室温・換気・湿度

エアコン設定	24℃～26℃
換気	適宜、窓を開放。外気温に合わせて開放量調整。
湿度	４０～６０％　ジアイーノ継続使用

②清掃

朝礼後	環境アルコール除菌剤でのテーブル、椅子、手すり消毒
昼食後	洗面台洗浄、テーブル、手すり消毒、ごみ集め、 モップ掛け、 掃除機、モップ掛け（週１回）
夕方	トイレ掃除、ごみ集め、ベッド消毒、玄関清掃
夜勤帯	椅子消毒
シーツ交換	各部屋週１回交換
座布団 カバー交換	週１回交換
浴室清掃	毎日

③設備・機器の整備

8月25日	IHヒーター交換
9月12日	公用車　ワゴンR　1か月点検
毎日	Aisleep(宿泊室　見守りベッドセンサー)点検
毎日	消防設備点検
2週間1回	サニクリーンマット交換
4週間1回	エアコンフィルター交換

④利用空間の飾りつけ

8月1日	リビング・玄関壁画
9月1日	リビング・玄関壁画

社協からの依頼により、月１回絵手紙の入れ替え

（４）地域と職員のかかわり

①実習受入れ

9 月 15 日(火)～18 日(金)

トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校 1 年生 1 名

②民生委員・関係機関等との連携

利用者についての情報交換

（５）利用者の生活に地域とのつながりをもつ取組

①利用者個別の地域行事参加支援

②利用者全体の外出支援・地域行事参加支援

地域食堂「まんまんちゃん」参加利用者各 2 名

地域食堂「どがなかな」下ごしらえ 1 名

③通院支援

受診支援（予約表預かり、声掛け、医療機関調整）	6 名
処方薬の受領	4 名
支払い代行	2 名
薬の保管、配薬	7 名
受診前情報提供	10 名
主治医への急変者状態報告、受診手配	6 回

④生活インフラ活用支援

預貯金引出 4 名支援しました。

④町内買い物同行

4 名継続支援中。

⑤町内支払い代行

法人預り金管理規程に準じて 4 名からお預かりし支払い代行しました。

購入支援の主な内容は、受診代、薬代、食材購入代でした。

⑥その他

（６）防災・災害対策

消防の取組状況

消防訓練	第 1 回	5 月 21 日　総合訓練（昼間想定）実施
	第 2 回	10 月総合訓練（夜間想定）実施予定
消防教育		・消火器操作の反復訓練 ・通報までの流れ確認
維持管理		・消防設備点検を毎日実施。 機器の作動状況・異常の有無を確認。 ・4 月　人事異動により自動通報装置（職員自動連絡）設定及び掲示物更新。 ・ヘルメットと別になっていたホイッスルを紐固定 ・スプリンクラー末端試験弁故障（錆固着）修理。

防災の取組状況

	想定	**避難誘導先**	**備考**
土砂災害	玄関前道路向かい法面の崩落による建物全体への土砂流入	仁摩保健センター	
浸水害	約 50㎝の浸水害	デイサービスセンターむつみ苑 （約３ｍ高い）	令和８年４月ハザードマップの更新により新たに指定

日常生活の取組状況

情報収集	警戒情報発令の有無確認→特段の警報発令なし	
避難訓練	第 1 回	浸水害想定：夜間想定むつみ苑への移動訓練 8 月 31 日
	第 2 回	土砂災害想定：10 月実施予定
防災研修	第 1 回	想定される土砂災害、浸水害について資料学習
	第 2 回	10 月実施予定
計画見直し	避難確保計画	5 月に変更して危機管理課へ提出
	業務継続計画（BCP）	2 回の訓練終了後に自然災害 BCP 見直し予定
維持管理	異常を発見しやすくするための法面の一部草刈り、側溝の詰り点検	

（７）質を向上するための取組

①研修（職場内外）の実施・参加

8 月 20 日	事業所ミーティング	利用者に関する情報伝達・小規模計画評価
9 月 21 日	事業所ミーティング	利用者に関する情報伝達・小規模計画評価

会議にて各利用者の支援見直しを行いました。

②介護事故の発生状況

8 月 21 日与薬忘れ

⇒退院前にケアマネジャーがお薬情報を確認・受領し、変更箇所を明示する。利用者到着時に持参薬とお薬情報を確認、処方変更内容が正しく反映されているか照合する。

9 月 11 日転倒骨折

⇒見守り業務マニュアルを作成・周知し、見守り担当者を配置する。転倒リスクの高い利用者は見守り対象者して共有し毎月見直しを行う。

（８）人権・プライバシーの保護

①身体拘束の有無

実施の必要性なし。

②虐待防止活動

なし

③苦情相談

なし

２．サービス評価に関して

サービス評価の実施手順について説明し、会議資料に基づいて外部評価の記入を依頼した。

３．意見・アドバイス

〇施設長

ほほえみ前の法面の草が繁茂しているため、安全確保の観点から大田市へ草刈りを依頼したい。

⇒(大田市職員)現地確認後、報告する。

〇大田市職員

コロナウイルス、インフルエンザともに感染は減少傾向。ほほえみ内で感染者が 10 名以上発生した場合は報告をお願いしたい。

〇介護リーダー

寒くなってきたため、腰・肩・腹部を温め、筋肉のこりや緊張の緩和を目的として温熱リラクゼーションを実施している。機能訓練前に行うことで身体が動きやすくなり、訓練効果の向上につながることを期待している。使用している温熱パックは職員の手作りで、小豆や大豆を入れて作成しており、電子レンジで約 1 分温めることで使用できる。利用者からは「気持ちがいい」「もう一回してほしい」など好評で、性別や年齢を問わず喜ばれている。

RUN 伴イベントで配布するチラシを入れるための新聞バッグを利用者とともに作成している。取っ手を作る担当と本体を作る担当に分かれ、現在までに約 200 個を作成した。利用者からは「やるよ」「今日もしようよ」といった声が聞かれ、意欲的に取り組まれている。作業を通じて役割を持ち、達成感や社会参加につながる活動となっている。